

☆これまでの学校再配置の検討経過(教育委員会会議資料より)

平成30年1月18日教育委員会会議資料

学校再配置の考え方それぞれのメリット・デメリットについて

考え方	配置	メリット	デメリット
1 町全体で1小1中とする	1小1中	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校が2学級以上規模</li> <li>・もともと保幼小中一貫教育の推進ができる</li> <li>・小学校の教科担任制が実施できる</li> <li>・中学校のクラブ活動が活性化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バス通学が必要(スクールバスの配車方法)</li> <li>・教員の研修・人事異動が難しい(豊能地区人事協の活用等更なる工夫が必要)</li> <li>・どちらかの地区の学校がなくなる(防ぐ手立てはない)</li> </ul>
6・3制、5・4制若しくは4・3・2制の実施が可能			
4 東地区、西地区でそれぞれ1小1中とする(隣接型)	2小2中	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西地区小学校が2学級規模</li> <li>・小中一貫教育の推進</li> <li>・保幼も含めた15年の一貫教育が推進される</li> <li>・東西が同形態で小中一貫の取り組みができる</li> <li>・地域との関係が継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学の部活数の減少(同上)</li> <li>・東地区の小規模校化(同上)</li> </ul>
6・3制若しくは5・4制の実施が可能			
7 東地区、西地区にそれぞれ1小とし、中学校は1中とする	2小1中	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存施設が利用できる</li> <li>・中学校のクラブ活動は活発化する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バス通学が必要(スクールバスの配車方法)</li> <li>・町全体の小中一貫教育が難しい(中学校がある地域とない地域で差が生じその克服は困難な面が多くなる)</li> <li>・東地区小学校の小規模校化(防ぐ手立てはない)</li> </ul>
6・3制(若しくは5・4制)			

平成29年12月26日教育委員会会議資料

学校再配置の考え方それぞれのメリット・デメリットについて

考え方	配置	メリット	デメリット
1 町全体で1小1中とする	1小1中	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校が2学級以上規模</li> <li>・もともと保幼小中一貫教育の推進ができる</li> <li>・小学校の教科担任制が実施できる</li> <li>・中学校のクラブ活動が活性化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バス通学が必要(スクールバスの配車方法)</li> <li>・教員の研修・人事異動が難しい(豊能地区人事協の活用等更なる工夫が必要)</li> <li>・どちらかの地区の学校がなくなる(防ぐ手立てはない)</li> </ul>
6・3制、5・4制若しくは4・3・2制の実施が可能			
4 東地区、西地区でそれぞれ1小1中とする(隣接型)	2小2中	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西地区小学校が2学級規模</li> <li>・小中一貫教育の推進</li> <li>・保幼も含めた15年の一貫教育が推進される</li> <li>・東西が同形態で小中一貫の取り組みができる</li> <li>・地域との関係が継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学の部活数の減少(同上)</li> <li>・東地区の小規模校化(同上)</li> </ul>
6・3制若しくは5・4制の実施が可能			
7 東地区、西地区にそれぞれ1小とし、中学校は1中とする	2小1中	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存施設が利用できる</li> <li>・中学校のクラブ活動は活発化する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バス通学が必要(スクールバスの配車方法)</li> <li>・町全体の小中一貫教育が難しい(中学校がある地域とない地域で差が生じその克服は困難な面が多くなる)</li> <li>・東地区小学校の小規模校化(防ぐ手立てはない)</li> </ul>
6・3制(若しくは5・4制)			

☆これまでの学校再配置の検討経過(教育委員会会議資料より)

平成29年11月30日教育委員会会議資料

学校再配置の考え方それぞれのメリット・デメリットについて

考え方	配置	メリット	デメリット
1 町全体で1小1中とする	1小1中	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校が2学級以上規模</li> <li>・もともと保幼小中一貫教育の推進ができる</li> <li>・小学校の教科担任制が実施できる</li> <li>・中学校のクラブ活動が活性化する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バス通学が必要(スクールバスの配置や、バス通学による体力低下防止に対応する方策を講じる)</li> <li>・教員の研修・人事異動が難しい(豊能地区人事協の活用等更なる工夫が必要)</li> <li>・どちらかの地区の学校がなくなる(防ぐ手立てはない)</li> </ul>
2 東地区、西地区でそれぞれ1小1中とする(一体型)	2小2中	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西地区小学校が2学級規模</li> <li>・小中一貫教育の推進</li> <li>・保幼も含めた15年の一貫教育が推進される</li> <li>・地域との関係が継続</li> <li>・小学校の教科担任制が実施できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学の部活数の減少(2中で合同でクラブ活動を行うことは可能だが、平日移動時間の確保に問題がある)</li> <li>・東地区の小規模校化(避けようがない)</li> <li>・施設整備費が高む(一体型の施設に整備を行うには相当の経費が必要)</li> <li>・将来町全体で1小1中時には二重投資となる(短期間での移行は困難となる)</li> </ul>
3 東地区、西地区でそれぞれ1小1中とする(東地区隣接型、西地区一体型)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・西地区小学校が2学級規模</li> <li>・小中一貫教育の推進</li> <li>・保幼も含めた15年の一貫教育が推進される</li> <li>・地域との関係が継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学の部活数の減少(同上)</li> <li>・東地区の小規模校化(同上)</li> <li>・東西で小中一貫教育の統一性がない(統一性のない教育の在り方で町としての課題などの克服が困難になる)</li> </ul>
4 東地区、西地区でそれぞれ1小1中とする(隣接型)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・西地区小学校が2学級規模</li> <li>・小中一貫教育の推進</li> <li>・保幼も含めた15年の一貫教育が推進される</li> <li>・東西が同形態で小中一貫の取り組みができる</li> <li>・地域との関係が継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学の部活数の減少(同上)</li> <li>・東地区の小規模校化(同上)</li> </ul>
7 東地区、西地区にそれぞれ1小とし、中学校は1中とする		2小1中	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存施設が利用できる</li> <li>・中学校のクラブ活動は活発化する</li> </ul>

平成29年10月23日教育委員会会議資料

学校再配置の考え方それぞれのメリット・デメリットについて

考え方	配置	メリット	デメリット
1 町全体で1小1中とする	1小1中	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校が2学級以上規模</li> <li>・もともと保幼小中一貫教育の推進ができる</li> <li>・小学校の教科担任制が実施できる</li> <li>・中学校のクラブ活動が活性化する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バス通学が必要</li> <li>・教員の研修・人事異動が難しい</li> <li>・どちらかの地区の学校がなくなる</li> </ul>
2 東地区、西地区でそれぞれ1小1中とする(一体型)	2小2中	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西地区小学校が2学級規模</li> <li>・小中一貫教育の推進</li> <li>・保幼も含めた15年の一貫教育が推進される</li> <li>・地域との関係が継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学の部活数の減少</li> <li>・東地区の小規模校化</li> <li>・施設整備費が高む</li> <li>・将来町全体で1小1中時には二重投資となる</li> </ul>
3 東地区、西地区でそれぞれ1小1中とする(東地区隣接型、西地区一体型)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・西地区小学校が2学級規模</li> <li>・小中一貫教育の推進</li> <li>・保幼も含めた15年の一貫教育が推進される</li> <li>・地域との関係が継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学の部活数の減少</li> <li>・東地区の小規模校化</li> <li>・東西で小中一貫教育の統一性がない</li> </ul>
4 東地区、西地区でそれぞれ1小1中とする(隣接型)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・西地区小学校が2学級規模</li> <li>・小中一貫教育の推進</li> <li>・保幼も含めた15年の一貫教育が推進される</li> <li>・東西が同形態で小中一貫の取り組みができる</li> <li>・地域との関係が継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学の部活数の減少</li> <li>・東地区の小規模校化</li> </ul>
5 現状の4小2中を維持する		現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員の人事異動が可能</li> <li>・地域との関係が継続</li> </ul>
6 東地区は小中一貫教育校とし、西地区は1中3小で連携を進め今後の在り方を検討していく	4小2中	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員の人事異動が可能</li> <li>・地域との関係が継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の小集団化</li> <li>・学校の小規模校化</li> <li>・今後の再配置が不透明</li> <li>・町全体としての小中一貫の推進が難しい</li> </ul>
7 東地区、西地区にそれぞれ1小とし、中学校は1中とする	2小1中	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存施設が利用できる</li> <li>・中学校のクラブ活動は活発化する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バス通学が必要</li> <li>・町全体の小中一貫教育が難しい</li> <li>・東地区小学校の小規模校化</li> </ul>

平成 28 年 3 月 22 日

豊能町小中一貫教育等充実検討委員会

「豊能町における小中一貫教育等の充実について」(答申)より(7頁抜粋)

<再配置の考え方>

① 町全体で1小1中とする

吉川中学校区

東能勢中学校区



小・中…1校  
<一体型>

<小・中とも西へ>

●:デメリット ○:メリット

- バス通学が必要
- 教員の研修・人事異動が難しい
- 東地区の学校がなくなる
- 小中学校が2学級以上規模
- 中学の部活は解消

② 東地区、西地区でそれぞれ1小1中とする。

吉川中学校区

東能勢中学校区



小・中…1校  
<一体型>



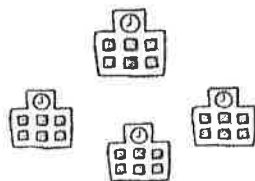
小・中…1校  
<一体型>

- 中学の部活数の減少
- 東地区の小規模校化
- 西地区小学校が2学級規模
- 小中一貫教育の推進

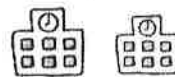
③ 現状の4小2中を維持する。

吉川中学校区

東能勢中学校区



小…3校 中…1校  
<併設型>



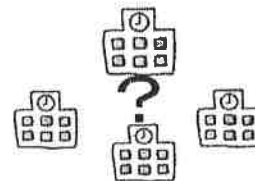
小…1校 中…1校  
<併設型>

- 児童生徒の小集団化
- 学校の小規模校化
- 小中一貫教育の推進が負担
- 地域との関係が継続
- 教員の人事異動が可能

④ 東地区は小中一貫教育校とし、西地区は1中3小で連携を進め今後の在り方を検討していく。

吉川中学校区

東能勢中学校区



小…3校 中…1校  
<併設型>



小・中…1校  
<一体型>

- 児童生徒の小集団化
- 学校の小規模校化
- 今後の再配置が不透明
- 地域との関係が継続
- 教員の人事異動が可能